载

(自曙火)

怀



· 编卷一册和国企业市道大 教 雅 以河南社 泰 大蜂 何何

車 吉林

世一日午前十時 大ので先頭部除 大ので先頭部除 大ので発頭部除 隊に準 たる歩、騎、大衛により長 長春發にて吉林の第一線に驀進すが料を積み込んだ有蓋貨車一輛を出して敵對的防禦してゐるものこ出して敵對的防禦してゐるものことを駐剳軍に出動命令下つたが吉 を連結の上 を強力され を強力され

路吉

日本と決戦

長を長し中世 

一師原出動後の長春は影響上表だしく手薄さなつたが公主後の森中野が守備版を引発れて長春野 團 司 令 t 司会部は本臓より十数分悪れて吉城へ鳴つたかくて長軽満州屋総館に臨時に貼りつけてあつた第二種職 の低に含る事さなつた。長春電話 関係際は二十一日南方に参飯を除っていたという教を観察を除は二十日、機

前十一時廿五分線階級上空に現け 大学にあるりが平腹飛行隊の飛行 我飛機示威

十一時世五分線順班」。 で映内の低熱をなする同時に徹野 ではまたない。その低器を ではまたない。その低器を 危險緩和 公主領

支那砲兵隊

松花は(老少素) さ南方に移動を

目衞權の發動

南京政府の第二次抗議に對する

わが外務當局の意嚮

では、 である必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に の事権において支那幅は全線無抵抗議に総称したるを現て事物一切の遺伝は日本職にかりを指 を完全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に を完全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に之を內外に 要全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に之を內外に 完全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に之を內外に 完全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に之を內外に 一定をならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に 完全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に 完全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に 完全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に 完全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に 完全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に 完全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に 完全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に 完全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に 完全ならしめる必要上戦略的占據を爲せるもので秩序回復と同時に

鮮軍間島出動

東電話 0

三、義勇隊を組織と身を以て國題に含らん事が電話する

南京政府が廣東に

わが自衛手段に

白系露人大喜び

北滿支那要人意氣銷沈

州側兵力を集中

(-)

H

支

突

事

才

上)衝突現地における我軍の活

北大祭障壁を貫

た弾痕

自

哈市支那紙の

武裝大官巡回

てにの領以伍 の音事事 幕 吉長 密亘日 日脳け こ 奉天で協議
白領に關するもので我軍の吉林出動ごとも
り密談を遂げたが、伍堂、林兩氏の軍首腦者こ
り密談を遂げたが、伍堂、林兩氏の軍首腦者こ
を前十一時半軍司令部を訪問へ庄軍司令官 9

政府口溫和な態度

黨部は排日を煽る

南京常務委員會決定

一方酸の信別は二十日夕飯までには一方酸の信別は二十日夕飯までには一種して平原で海拉側に若て深山飯

張作霖の

。 協 旅 專 て廿一日午後零時廿分安東通漁出發した『安藤園長の率ゆる○○○○○の兩所を開長の率ゆる○○○○○の兩所を開展の事

一世、一日午後零時十分安東通過出版した「安」、「「中央監察」の対象を開発したが、「大学」というには、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」という。「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というない。「大学」というでは、「大学」というないっては、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というでは、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というには、「大学」というないっている。「大学」というないるないっていうない、「大学」というない、「大学」というには、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というないない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というないいいうない。「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というないない、「大学」というない、「大学」というないいいうない、「大学」というないいいうない、「大学」というないない、「大学」というない、「大学」というない、「大学」というない

時局を機會に

妥協を申込

でしてゐることは世界史上前例でしてゐることは世界史上前例で東天。 風春、安東、譬口を聞い内愛に理论を知ら

撫順方面敗殘兵

全部武装を解除

撫順全く解穩に歸す

||瞬り即日林朝鮮軍司令官に訓令を養することゝなつた||多謀總長を官邸に招致協議の結果混成一個旅團を派遣するに決し、南陸相は日發||間島方面の形勢縣化し大事發生||られざるため臨時閣議開催に先立ち

陸軍巨頭會議で決定

した、右により同師團管下○○旅園は今朝旅團司令部を羅南より會事に移し動。間島方面の事態切迫に對し朝鮮軍においては羅南第十九師團に對し出動

なる問題の時間に鑑み十九日軍事會議を願き

南師團に出動命令

達 大 店 中

大久保子

一十一日腰衛外観場は自教記場十一市郷記は一回十分宮の四十六則七年の歌明をなすことになつたこの歌歌を動り窓に二十前歌を配との歌明をなすことになつたこの歌歌を動り窓に二十前歌を記るく見いが野歌をかり出る本位歌歌を動り窓に二十前歌を記るく見いが野歌をかりません。 一方院市においては全本位歌をいり大センセーションを模型となるをから、一方院市においては全本位歌をいり大センセーションを模型となるをから、一方院市においては全本位歌をいるという。

貿易阻害されん

村井滿銀頭取談

が國の對英

遠期九十五錢に

反動來を豫想

日本は、米属からは電大な にでは大した関係はなく英國が をでは大した関係はなく英國が 会輸出禁をやつたさて大した影

期近四十九圖六十錢

內地株大暴落

逐に立會を中止

東新は十四五圓安

五品市場口

日登り英國政府一は今夜やより金本位は

立會を延刻

内地株は増證徴收

大連各市場への影響と

經濟界に於る觀測

の観測は英珠帝の金本位納の祭正の観測は英珠帝の金本位納の祭正

停止六ケ月間か

## 數日間外國より か原因 は

部は大飛省が米佛民間銀行に設定したる八千萬磅の中より支辨してゐた、然るに過去數はイングランド銀行が米佛兩中央銀行に設立したる五千萬磅のクレデットより、而して一て金は二億磅に上つたが、この一部はイングランド銀行手持の金及び外 國貨幣より、一部で全 一大原因は金流出防止にある、即ち七月中旬以來ロンドンより引出されて東京特電二十一日發】ロンドンよりの報道によれば既報、英國が金本位を停止す 急激に増加

五品更らに

米國に

立會延刻

株は恐慌

以下必然

奥田千之氏時

留市口安心

水谷五品常務理事

必然的な

登』英国の金本位献停止に関し今代更ダウニング街の首相官はより左の知きコンモ

分力を停止すべき事が必要であるさの決定に到着した、この目的に関する法案は直非金本位制條例中のイングランド銀行に對して定頼な以つて金な費却すべき事を一十一日午前等時)より金本位制を停止する、政府はイングランド銀行さ協議の結

はその映画六ヶ月になるらしい に利上げ

『ロンドン二十日巻』イングラン 上げて六分さ、歌語二十一日より賞 上げて六分さ、歌語二十一日より賞

この手段に出たのである日間外國よりの金引出しは再び急激に増加し形勢重大となったので日間外國よりの金引出しは再び急激に増加し形勢重大となったので が地震は見送りの知名士多くつたが地震は見送りの知名士多くったが地震は見送りの知名士多くったが地震は見送りの知名士多くったが地震は見送りの知名士多くったが地震は見送りの知名士多く 本書を開きが動に関する協議を行 を動し二時代から助雅人都合職時 でを関するに関するに関するに を対し、これのでは、一時代が動と野に を対し、これのでは、二十一日午後に至 のでは、二十一日午後に至

有卦に入り、夏手がた 入り、黄手族た

金の輸出を禁止す

古澤丈

大豆、豆粕、豆油 いづれる品騰す

物の大連南下は増一れば

・央卸賣市場の

組合から

市役所に

を歌品し影響する等後市場でも変融鉱脈を流した、後市場の既深越に各方面の観測を流せば左送板したが、戯市場は上海機会の惨淡から舒繁は一類に四周方の影響を演じ物動市場における場では、東西南市場でも窓に立合を中止するに歪つたので震地株式市場は前場立会を午後まで場さなり東西隔市場でも窓に立合を中止するに歪つたので震地株式市場の短きに飛ど恐慢振機に監み金本位継係止を繋明したこの報を入れ晩銭人象談化し、株式市場の短きに飛ど恐慢振内地野飛は1支配終事代の東大化に不安人類を繋してゐる指核、突如英國政府は財政の東大社の地野飛は1支配終事代の東大化に不安人類を繋してゐる指核、突如英國政府は財政の東大社

何らかの支持方法を講ぜねば

イギリスは教はれ

武安朝鮮銀行支配人談

小川氏愈よ退職 後任は谷川善次郎氏

英國流入必然 大野敬信氏談

573,3

57.0

20,000.2

348.8

420.8 57.2 182.0

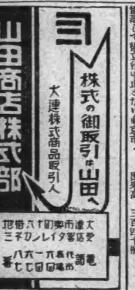
435.3 134.6

626.0

82.4

77.9

無効返金 責任製剤百の効能も用ひさる人は知り難



(E)

目

神座ンなれるばかり利喰ひと

# タ落ち

門上観然たる戦に月歌を迎へた総統市場へ歌波の知 が、さなり文字通り殺人的光気を呈した、即ち日本人仕手は時局見越して質に題つてるた人地覧の第2中には誇大過ぎて流電影解職に飛び市場の騒ぎはさながら火事場に渡つてるため。第2中へ突如電通その他より東京方面大地震を特じ思にさてオートがある時にある。

これ等の副材料の山積を目前に見ても日支配窓で現場倫底の途を絶たれて品郷を喚び悪常僧買びに遡るさいふドテン返しの興ぎを遊び出來高は近來のレコードを作つた。 流言を放つ 各警察署に通牒 虚する 財界は世界的地方的の材料輻輳に暗霊低迷の形である もの

不渡手院の搬出を購て手院交換は「帷幄行の支那人預金は働かなもの事と合せて平日通り際変したが、「在壁銀行、板鉄銀行谷支店は「谷支店における支那人の預金組出行、正壁銀行、板鉄銀行谷支店は「谷支店における支那人の預金組出行、正壁銀行を大脚線、本窓跡に在る前州級「髪を縦げた機様である、なほ髪地響と、海峡、本窓跡に在る前州級「髪を縦げた機様である。なほ髪地響と、海峡、本窓跡に在る前州級「髪を縦げた機様である。なほ髪地響と

では十九日以本代製したが二十一人を観光の結果、奥地における各一

樊事號も知らずに職業してるた

脚長開来館代理が部下大院長に新 会せるは事質にして統教後側長さ

今夜旅順で

邦人大會

体製し二十一

時局に計する松満邦人大

昭和園で

天津から急遽

手形交換

切中止する

をなった。 との計画会部を課の直覧せるところによるさ中村事代は屯縣軍第三 をの計画会部を課の直覧せるところによるさ中村事代は屯縣軍第三

奉天以北の銀行休業

しの盛に離れ飛ぶので関東際部が一路を壁頂に取締るが出地が釈然情談を初め答市場方触そ 製造さ目されるものと他は釈然情談を初め答市場方触そ 製造さ目されるものと他緊訴説、東京が酸大製災跳、内 局では直にそれ等の内

●戦闘状況を中心さらて持つる精病二十一日は戦楽谷所の表演と何れる戦極過敏になった。

出動軍人 滿日婦人 明日から

国員が
袋を作製して 八警察官に 八團慰問袋

る事になった。歴史帯氏は他つて集合して聴きたい、恥問愛の事集に死る中五日から事態である我等は粉土を出來るだけ多く編ひ座いために、軍人及警察官の驗問愛の優別に割ますによって作弊する事になり廿二日午前九時本社三階勝堂に最集の上直に融問愛の保護に割ますによって作弊する事になり廿二日午前九時本社三階勝堂に最集の上直に融問愛の保護に割まする。 三十日迄に本社真実部まで属けられたい、また州内各地のは支社支局に属けられたい動縁とて特問はの事態に聴ざられたい、なほ感事の方は縁人圏に促憾の数に機能対入のする。満日婦人圏は「魔らず一般存志の人々も臓つてわが飛散なる出験の粉土を観ふた 金銀は一級最低二十銭目割さするが金銭の際等人の命業者なざなるべく出征の概士を続けす 廣く一般から募集

の各級行は二十一級を得て二十二日より開業の見込まが、大小西側の清観から日本側銀行支店は日本軍出動の店は二十一日も依はない、なら古林に於ける消機が出ているが表が、一であるから取立て、云ふ程のこと

行すること、なつて居た大連市役 會は無期延期

二燈地山に立つて

私頂山攻撃を觀る

素晴しい空陸兩軍の猛攻撃

本社特派員 山口晴康

を一の脱地長物、四平部が歌に した我都賦は起れた動やす間もな した我都賦は起れた動やす間もな

機はきか使つて根る野礁の標さ、 機はきか使つて根る野礁の標さ、 の

郷の製をついいた頭く四が八方に窓に転車を出版した、この軽率は

銃劍

の緊張

泰天から足を伸ばして長春へ

特派員五百旗頭佐一

本人を戦く城野戦人を見ました。 で大戦のそばを通りましたが打餓さ へれた女那兵の存在も知らぬ線に然

では時間の

容易に澎却しまうもない、第二院 の概なは働く我職者をおびやかし であったが、それでも職

鋭兵 さされた戦し麻草

附属地は明

を表しています。 本本に記述し職やかに自職を表しています。 一日は早期の生物を多く拡散日間さびらの往来も多く拡散日間さびらいます。

率天城内は 近~開店 前九 マー 歌して観る髪平自戦車、髪を膝軸 を 歌して観る髪平自戦車、髪を膝軸 を 歌して観る髪平自戦車、髪を膝軸 を でからを表ってゐるのは長小を達 を でからまった。

では、 ではとできょうこと、なる等でである。 では、 が多いが、我軍の金融で近日中 でが多いが、我軍の金融で近日中 では、 では、 では、 でが多いが、我軍の金融で近日中 海湖(午前七時五十分 

けふの小洋相場(叶) 干潮(午後一時四十分 金百個打二四一個丁班

イマツ

器器

於取解論 今津化學研究所大阪市西區京町組通二

大会古、地村総部等は江南山の 会前、地村総部等は江南山の 会前、地村総部等は江南山の ら地震 かり失せた関連がは、かくて さ続ば がかと乗した、開戦後報示佛総印 郷長か ら地震 の いかとしたが日本の いっぽ 助三分長物に着いた、破壁に腹壁が我等の心れ壁域でもある ・ 大の影響を構成するち二十 が脚は腕かにか



現力を 地める時域気式 のでせう」とは関係げに関を続け

せきづい、神經 広八西通電車 

語門八〇

病はかり

及生前原知諸賢に不相叶本日午前三二 九月二十一日 二日午後三時三十分西殿が日本著者兼會にて都に護告候也に護告候也 の候間 此段生前 二時十五分永眠仕候間此二時十五分永眠仕候間此

頭痛

京集

外交員事集

南部 依竹子代子。加美子 

大連市場通叫六七

機動パトラ女子美容学院 ツトラ女子美容学院 サ子美容講習生徒募集

| 大連市浪速町(奥町角) 以子美容講習生徒募集

各方面で 慰問 他のため名職職

いいでは、 を対する単一作るに関って申込みをへわれば要

け

電線一部不通

三 午前十一

なほ大体技能対影校では 責任かなよ

特産は爆發

鐵道部長

不正商人跳梁に

全従業員に

り沿線谷地の日支融人が中

徹底的取締

實付けてゐる不正職人一見の場合は賦洞に貼する論を消謝底を見かけて一概長 | 人に際管を養し同時に不正行動器に難じ製利をむさば | 本命令して來たので各種では新語に難し製利をむさば | 本命令して來たので各種では新 日管下各階系器長に徹底的取締があるに魅み関東の関係のほどは廿一 を命令して来たので谷野では

東京中央領教室 同窓技師の ・ 本年度に然て ・ ため東京、新述間窓話を部 ・ ため東京、新述間窓話を部 ・ ため東京、新述間窓話を部 ・ 大都線、前線線、も ・ 大都線、 ・ 大都。 ・ 大本の ・ 大 ・ 大本の ・ 大 ・ 大本の ・ 大本の ・ 大 ・ 大本の ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大

「東京二十一日登」東京地方は十一時二十分より数十分間に取り 動りり配信歌語線を新に収載され、 人々は光を勢つて戸外に飛び出し 一時二十分より数十分間に取り 歌が前その伽殿書には郵観氏歌 そしてみる、根當の歌歌ある見込 か、京都、大殿、名古画でし敷受 京阪でも感受

部下大隊長辭職

NO

支那側

**果面暴露** 

所志能本社後級の第二回

ル大會は時局のため無脚延期さな

大した事なし

教室山野飯所に焼じたる東京地震 は養誕時満州時間午前十時二十三 分二十八秒、震脈線師一千六百七 十四件、電脈線師五十一分三十 か、地震部線脈五十クロンで以上

▼外堀出物豊富に取揃ひ!

本秩父伊勢崎特價一反三圓半本秩父夜具地

たて民政署是市長及氏子役員等参 にては午前十時より境内義拝所に では午前十時より境内義拝所に

マヅ蠅取粉の

需要者各位へ謹告

さ大連を經て赴奉

一の御情い合せは絶對に当断り 電話問合せお断り 滿洲日報編輯局 天氣陰能

二十二日 本品の名は蠅取粉でありますが、蠼以外の南京虫。少女の頭のしらみ。のみ。だに。鶏の羽虫。牛馬豚等の蠅吹・しらみ。をだに。鶏の羽虫。牛馬豚等の蠅がでなく、四季を通じて各家庭に、是非物でなく、四季を通じて各家庭に、是非物でなく、四季を通じて各家庭に、是非っに、一種は衞生上必要な常備薬であります。

學生靴一割引 一、同網上 一、開短靴 四一、黑短靴 四 一、赤短靴 五五五四

田小兒科醫院

ちいい 電話六三

大連市イワキ町

九月二十四日より二十七日まで 本年の代表的

至九月三十日 拾 大連後送町三丁甲天正堂時計店内

日九月二十日

無賣此機ヲ逸スタ

寶石、指環與各種類

を 三人の地廻りのやうな若者が、た ころの地廻りのやうな花者が、た

輸新棋戰至乃

暗 流 阿

「感行いたさしても過げるやうな

本る廿三日から 成織を戦めてゐる。なほ大田 世里の屋根の下 (標案されてゐた佛園トーピス社 では遠望するこことなる。 なに大田 大田 では遠望するこことなっては、中では遠望するこことなっては、東近の特代、ルネ・クレエル氏監 に於てのみな離される。 なられてゐる。 なられてゐ。 なられてゐ。 なられてゐる。 なられてゐる。 なられてゐる。 なられてゐる。 なられてゐ。 なられてゐる。 なられてゐ。 としれてゐ。 としれてぬ。 としれてゐ。 としれてぬ。 としれてぬ。 としれてぬ。 としれてぬ。 としれてぬ。 としれてぬ。 としれてぬ。 としれてぬ。 としれて

發聲興行 差介

王店を奥

リ や ば 達 男 い猫をルイフロブの駅末川線 から朗もさいの奴町對本族に れこばご間代時スンセンナな

秋の

お

履

物

11

(#)

山

淋病の徹底的根治法に

厭佳

顠

ふと屋

6085 当 22660 当

日一世月九自日五世月九至

來る廿六日に延期の

照井詠三氏の獨唱會

△三五 住 ▲同 歩
△三五 住 ▲同 玉
△二四 金 ▲一四 玉
△一二 飛成 ▲同 玉
△一二 飛成 ▲同 玉



各

位

大 連

百

貨

店

択て新裝うるはしき大道

御挨拶

**曲四五**介四泰代話電

イオン導入治療法がある 大連市薩摩町五番地 奥山イ 導入治療所

四番

日日ヨリ 五日マデ

向 見 品 賣 賣 物 賣

字 節

大連イワキ町

慰問袋に寄附

目

ンに東軍

たが之れしはドシの

投たもの邦 製完全に古林を出願した。 奉天電 日本院留民保護のため同夢に向ふ

々に

吉林着

居留民は安堵

新市第二本特務機關へ爆彈を投下窓硝子其他を破壊

原外性でのの

宜に處置

閣議後南陸相語る

抗議には應せぬ

飽迄地方的に解決

わが軍部側の意見

安維持並に

即は不戦疾約の精神一三百米間に

死傷者の優遇方法 昨日の閣議で決定 戦傷死者の例による

一長始め各課長、顧問

開始の協議

支那軍の小銃弾 我飛行機に命中

軍隊出動せねば

武裝警官を派遣

間局邦人の保護策

張氏の態度

なは未定

岩槻首相奏上

日本軍の即時撤退を

歌するやも 【北平十日書】 歌歌良氏の腔へは 天 歌するやも 【北平十日書】 歌歌良氏の腔へは 天

張學良氏發表

送信機を

支那軍隊退却

吉林に輸送

南京政府から要求

故意に平和を破壊するものごし

昨日第二次抗議提出

なほ変公使は個人さして観撃良氏なほ変公使は個人さして観撃良氏

蔣介石氏歸寧

戦励を失び点に選邦逃走の機様地駄に選邦とたが桑軍賊力に對

| 「大工作の一様に中心を表して、接来者 | 「一十一日 | 一十一日 | 一十二日 | 一十二

吉林が配が像を告げたので我軍で は出版せる東北無総書儀所より廿 一日姫波長の送信機を吉林へ輸送 (南京廿一日登) 同民政府は清州事物に関し二十日第二次統憲総世した其の内容は日本軍の部時撤退方を要求す尚ほ中國は本件に関し正當の要求を提出すて日本が故意に平和を破職するものさ能す日本政府は本常に関し完全に責任を直ふべきものさ日本て日本が故意に平和を破職するものさ能す日本政府は本常に関し二十日第二次統憲総世した其の内容は日本軍の行跡を以

【上海廿一日餐】中央要人は昨夜壁、食味を開き王正廷氏より第二抗議を提出継末報告を受け左の通 近く對外宣言を發表

きはまるものである駅側一数日本と一戦を受ゆる管悟を有すると共に日本の暴遊を世界に喰かにし公 二、至正廷らなして對外質官を起車せもむ 一、事実陥落哀悼の為め全回牛族が抵げ脓舞音曲が停止す

支那記者騒ぐ

混成旅團

北平支那紙の報道 13 「電話には支那側抗議に日本が四十八時間内 正統氏は支那側抗議に日本が四十八時間内 正統氏は支那側抗議に日本が四十八時間内

野球も若し替れられされば野山画交戦略を宣布す

事件は局部的抗争 芳澤公使再訓電

賊八名射犯

といふしので学句順る殿道を極め 【南京特電二十日費】南京の支部三、 撫順城完全占領 南京支那紙

渾河の架橋工事完成 

の架橋工事完成 ・おの決定に他の同樂館工事は膨緩、響なり、午後二時我軍の飛行費二 の架橋工事完成 ・おの決定に他の同樂館工事は膨緩、響なり、午後二時我軍の飛行費二 ・おの決定に他の同樂館工事は膨緩、響なり、午後二時我軍の飛行費二 ・おの決定に他の同樂館工事は膨緩、響なり、午後二時我軍の影響を駆撃 は即頻車及一層水酸の影響を駆撃 は即頻車及一層水酸の影響を駆撃 ・飛行場に

本庄軍司令官

西正金大連支店長談

既を逃叛し で震市も 記を逃叛し ごりも〇五所を戦するに至つたの

増證據金を徴收

立會ひ開始

決定

**遂に増證を徴收する** 

主な要なるであった。

「関と英国版政道ペーシュ氏は認

をから、一番にかけつけて膨緩して来たら、一番にかけつけて膨緩してがあい、動な繊維などが参いであるのより、脱な繊維などが参い、まるつまり、形な機能などが参い。

ッチリみえてしまつて。 意間より

何が問題

英財政通の談

藏相事情聽取

あたじも、野くれやう。あしたがかも知らずにいらつしやるだらうかも知らずにいらつしやるだらう

夜が更けてゆく。

これないこいふのだらうか。

かけならまあ、ゆかんぶりして りかれないわ」 をだけならまあ、ゆかんぶりして りかれないわ」

米佛の態度如

錢鈔後場きのよ

英金本位制放棄問題

遼河右岸に

千の敗殘兵

当ろア

メリカから

フランス

【単京廿一日参】日空突戦に端を をした株式市場は英國駅界消息の

かり大野がて、穏をなさみくびつ」そのひさが展れために、まるで知るれらんさこなんか、見きんば、てゐたのは、質はあまりに近く

そのひさが居たために、

な人、聚一さんみたいな人が、自

當市猛騰

分の好きな男性だつた。数一さん

に微軟することになった 四百個の増離を二十二日正 できなった

能に離る、また検銭低級では二十

新東株衛新燃卵鐵板像新及び新東 を創門が近より物機は全卵鐵板像 を創門が近より物機像全を開設する事でなり共の鉄板は大なるに置み現 がある事でなります。

伯林取引所

れを変と

二十一日休場

ころうったらつ

値頃は

頗る神

經過敏

ギリス球状の凝蜒に伴び英米クー

上藏相は語る

國へ

の影響は

鄭家屯支那兵

磐砲隊に日本軍

二十一日正午戦立那の所選兵約十一 五名は又もや柳條武北側附近に現 れ再び鏡道破壊を全て我守備隊

北寧線避難民

日

征伐を理由さらて別返して

逃亡矢二千

開原の公安隊

満鐵線破壊を企つ

柳條溝北側において

軍需品を輸送

# 八現地保護請願

りが軍隊の な被威撃せられのやう職ふさ歌郷は何時にても自養的武数繁戦するない。

の中東倒著二十餘名を滿織

本事に黙しては概繁に融かを有せ 本人群職には流南の深思機路局の日本 人の生命財産は極力保護に努め日 本人群職に繁して海南在他の日本 人の生命財産は極力保護に努め日 本溪湖の警備

宿舍を準備

日午後五時來看した、縣頭によ所で、一日午後五時來看した、縣頭に本院制へ移駐する事さな、一日午後五時來看した。縣頭に上所で、一日午後五時來看した。縣頭に上所で、一日午後五時來看した。縣頭に在衛民 整ふ

**負傷兵を移送** 

十名の敗走兵密集

他和人の 陶鹿地方平穩

奉天敗殘兵が再び

南嶺激

戦の 新田支交戦直後における本

兩氏絕命

支那死傷兵

開東 職群 会(十七二世)

碟部 茂



た我軍の兵士一名は捜査の結果

町鎌の地點

陰觀者左の如く決定 民政黨 井上 好美 (再選) 段政黨 西尾 治平 (新)

され楽骸にされた上、銃衂で転却いて飛骸さなつて養見された却いて飛骸さなつて養見された

軍隊輸送に

事態の進展に鑑み満級では軍隊輪 が出れ、日本の大事が下金 が出れ、日本の大事が下金 が出れ、日本の大事が下金 が出れ、日本の大事が下金 では、日本の大事が下金 では、日本の大事をは、日本の大事では、日本の大事をは、日本の大事 全機能發揮

支那個の四人を終五十名教容して変形側の四人を終五十名教容して変形大西爾大郎の教養工職内には

死かなせる金子上等兵の父親増 秋田、高嶽、田中秋田、高嶽、田中 死を喜ぶ 等兵の父

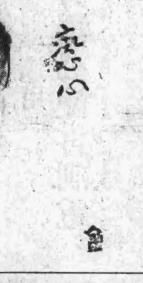
れ在司金館に

鳥取縣議選舉

中 機構銀夫人の同窓である關係から ・ 大学のである関係がある。 ・ 大学のである関係がある。 ・ 大学のである。 ・ 大学のでなる。 ・ 大

スレート氏夫人視察

大連市の社会事業委員会は廿一日 年後二時三十分より市役所助役室 にて際會長潤社會職長から蝦夷人 組合の电離内容を説明しその個同 組合の电離内容を説明しその個同 職を承認する事は個々の開催より 社會事業委員會



## 副東軍中会議との電子殿内路に微地地及び ・ これにより三谷少佐は直に本 ・ これにより三谷少佐は直に本 人心安定

畑中に埋葬・

CASA BENEVA

危險視さる

我兵の死體發見

南嶺戦の行方不明者

友達はそんな時に、かうも云ふっざこにも見違らない、さ今深思つむ。あんない、後兄があつて」 る。 (あたもの好きな男性さいふのはちゅうなだい、後兄があつて」 る。

第二の反抗の B

大豆反落 の樹騰で

大新のである。

株式延刻立會 場(暴落)

ないんだり。

ないんだわ。いつもの程さとかほ

つて下されや

京 思 理 日 井 玉

京 嬰

深計世 出来英 二高枚 出来英 二高枚 版 九五大 10 地 九六三 入0

市

市はマボラの投物あり相當学合せ比も各展一側調みの細薄を示し高 四 二月 限 九五八四 九五二二四 九五二二四 九五三二四 九四四 九五三二 ◆現物取引〈単位経〉

麻袋低落

綿糸も續落

蔬菜や果物の

日

はごうしてよしあしなお見わ 良し惡しの見分け方

▲甘藷は外皮の赤いのが が色の赤いのが

頭痛

頭痛最効薬

五十年を逆戻り

紐育秋のア・ラ・モー

オラかり落してから右の店



青空澄み渡る 大連伊勢的通り 魚谷造花店 電話がにtt



型は欧坂参敷を占め五十名ばかりの 地震部壁で驚然壁が駅い部屋から 地方出して同び駅の小さい窓まで 地方であます、二十前後から三十 前後の

0

## 深い水栽培

頗る簡單な方法

始めて来るものでわります。 にすれば自然に際花するものにすれば自然に際花するもの

着替へ時迫つて

主婦のメモ

これから忙しい

市社會館の授産部 腕次第で月收十五圓一

中國

▲セルロイド駅の結果は御歌で、 が関でもいくがさい子供に持た せるのにいくのですが、手荒に がですり掛けたりしまでさよく

六七世

元分で厚料などは全通 方が具々のよいもの が具々のよいもの

外科内分泌病

▲嶢の



御紹介する筈ですから、何分の御警接を祈願致してゐます。十二月號は御地の特輯頁を編輯した此の未曾有の快擧も、御地を最後が東京驛を發してより日を經ること實に九ヶ月船北馬、本州樺太北海道を踏破して、今! 御船北馬、本州樺太北海道を踏破して、今! 御船北馬、本州樺太北海道を踏破して、今! 御 臺臺臺 南中北

田島

各地に於い

講演會·座談

を掲載します

お 嬢 さん 轉落……細田民樹秋 の 歌 自 級 傳……若山喜志子 傳 ……若山喜志子 新野 貞行 東京行 東京行 大 具 は 大き術の秋の展覧会 大き術の秋の展覧会 大き術の秋の展覧会 大き術の秋の展覧会 大き術の秋の展覧会 大き術の秋の展覧会 大き術の秋の展覧会 大き術の秋の展覧会 大きんの 大き

藤澤

說小作名大六 廣淺下津原村

全國職業紹介所会國職業紹介所

普通號通り

鳴る淺間山の麓から野上端生子 現代日本に於ける婦人職業の難點 謎 の情が

森田

和郎

庭繁威

横井建築事務所

を祈ります時局多端の折柄愛讀者諸姉の御健康

**単人聯合分會** 

非常會議

代の迅速な解決を希切

地成

在留外人保護に努力

仏信してゐるため 上海野

国に教物部の非常がないない。 はの紹集・トラックにて彼器で派を 分會に運搬し命令一下面に出版す でき事像を整へた

**ウ選協二十六日頃より開催の禁定** 学園主 偏軟式野球大会は時局の含 十八日より無行の限定なりし質

職無地の事態、然も之は後級の概 関内の日本の正監性つ重大な概容 で配験で配験でおるかを知らしめ こにあるさこ同時に一日も早くが、今 なにあるさこ同時に一日も早くが、今

紙は深天事が

も軍器、歌歌の補給力を有する 配は東三省軍のみならず中央軍

ななし名部署につかしめ

吉長鐵路緊張

飛行機のモーターなが、方

電話』

「採用したものである『奉天電通 で採用したものである『奉天電通 で採用したものである『奉天電通

警備會議

居住民の

城內商埠地

治安維持

に取り警戒ル戦にしてある

殿印御殿等の一個都に続て軍隊

廠爆破の

戒

する

支那砲艦武裝 我州惠兵分隊長增剛少佐新義州

鐵橋の

元遗腹 會簡問問 庄野義信編著

## で御順城に入城し、十九日夜以下の院走兵戦子名は御順東南方にの院走兵戦子名は御順東南方に の目的を以て東大都が面に民族なって野響してある、更に翻製公司に入った中である、更に翻製公司に入った中である、更に翻製公司に入った「根報に佐れば東天よりの速ご更隆」と「地子、五条流が配に天幕を選い、「地子、五条流が配に天幕を選い、「地子、五条流が配に民族のよった。 各方面にて策動

127

て販内外谷所に踏織し一般氏数に を簡沈数を守つてあるが今回の武 を簡次数を守つてあるが今回の武 で期食は時間の飲め中止した に放て際催の等であった中央公 はに放て際催の等であった中央公 がに放て際催の等であった中央公 施院機関住民を部代表者は十九日 年後三時より地方事務所に於て塾 年後三時より地方事務所に於て塾

が行動は正當

果京各新聞の論調

を髓眞の球野 んら知

時局のため中止

正正正 四・五 始

一野六 が球大 取り串 朝記の事、但し一人一校一枚 年九月末日

の正史と秘話裏面史に通じ、各チーの正史と秘話裏面史に通じ、俗チーの正史と秘話。本書こをはその條件を満たし得る。本書こをはその條件を満たし得るを前の全集にして、縦には六大學の正史、定本であり、横にはおらゆの裏面史であると共に、世界に誇るの。本書になる時を順みて、今日のの正史と秘話裏面史に通じ、各チーの正史と秘話裏面史に通じ、各チーの正史と秘話裏面史に通じ、各チーの正史と秘話裏面史に通じ、各チー 試合に臨み、明日をトする町の正史と秘話裏面史に通じ、なる野球の醍醐味とは何ぞ! 野 どその醍醐味を知るものは少野球は現代人の常識である 球。され 界それ

四

八四〇二番

改

造

# 普

歌響 大陸数 山本一清氏著 蜡 海 清 木 保氏著

▼體數 正實十二卷、機算十八卷、竹三十卷 頭は甲型けません) 積各一景宛配本 万のみに全二

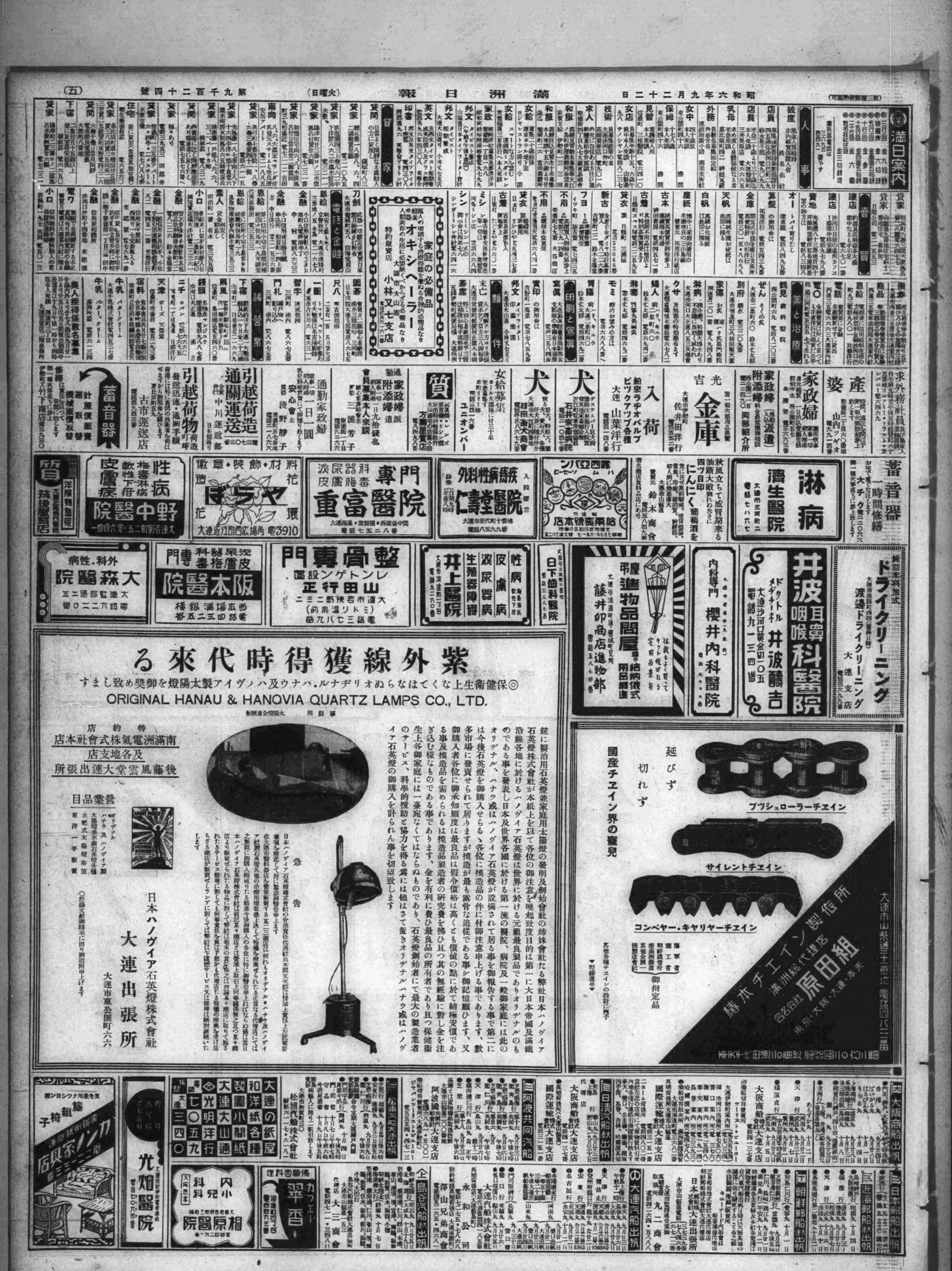
定

進大申

ラ Ŧ 才 工 學 土 和田三之助

10 2地球の歴史理學博士早板一郎 天體と宇宙理學博士山本一演 正篇 生物相互關係 理學博士 內 田 間 珠裸博士 石川千代松 球型原物士公山基施 **黎**理學士員當位一 学<sup>理學</sup>士員當位一 (自然科學賞) 十二 册 物理學博士三好學 4 化學工業工學士商運輸亦智 人文地理理學士 佐女木 磁氣之電氣理學學士三枝養雄 活 水林 化學工學 人類及人種文學博士島居籍權 電信電話工學士和田三之助 染料と染織工大教授養山新平 電氣化學工業 工學 士內田俊一 产 農學博士 機本軍耶 (應用科學書) 十八冊 工學士及并影一即 **農産博士 稲 堀 乙 丙** 工學博士太田定章 上原敬二 10 13 12 道 水力電氣工學士即口 築 庭園と公園林県博士田村開 最新治療學 智用十平台等 ガソリン建動機工 學士 内職 郷 俊 上水及下水工等博士草間 都市計畫工學士石原憲治 助車工學士內原邦 梁工學士成職時就 器工票拟士費木 生物學博士即維熱學 船工學博士山本氣體 港工學得出的本報治 學學學博士杉田直繼

第である。 世界最大の科學書たる我萬有科學大系は、前後六ヶ年を費し、舊臘完結 り定慣は驚くべき低廉で既刊版の二分の一に過ぎない。 線的記録は悉く之を網羅して餘す處がない。 を告げた。見よ魔然たる大册一萬一千餘頁、實に近代科學各部門の第 大叢書をかくも低廉に提供し得るに至りたる事を喜ぶものである。 に於て最高級の理想を質現する事に勉めたから、 られる。方に之れ現代人高級常識の一大源泉! 一萬個の豊富なる寫眞挿繪は、 兹に一般大衆の要求に應ずべく断然普及版を刊行する事となった次 内容は新に改訂せられた部分も多く、 何等豫備知識のない人にも容易に諒解せ 而かも平易なる記述、 定價亦不廉であつたの 唯既刊版は造本上總て 我等は此不朽の



剝げ

ぬ白粉

に 有機ではない。 の自秘、サーフ部がは関係を動かましたが、伊政知の の自秘、サーフ部がは関係を表示して、大分にさばがれまして、 それは自然か? 何といふ 自然ですか? を がはされてまるった。 でした。チェニーはされてまるった。 でした。チェニーに、 でした。チェニーに、 を がいの治文を管理 でした。 を はされてまるった。 でした。 のでした。 を はされてまるった。 でした。 のでした。 のでした。 を はされてまるった。 でした。 のでした。 のでした。 を はされてまるった。 のでした。 のでした。 のでしたが、伊政知の のといふ はされてまるった。 のでした。 のでした



日 郓

出さ

一木元子女

サーワ頻紅

ミツワ石鹼



郎九定の丈郎四幸(庫文ワッミ)

脚氣藥。權威

ヴィタミンBの世界的始盟

脚氣に對しオリザニンの特效あるは既に決定的事實なり

オリザニンは脚氣の外(1)重病經過中に來る榮養 其浮腫の治療と豫防に(2)人工榮養兒、特 粉榮養兒の榮養障碍の治療と發防に(3) 姙婦の榮養を助け悪阻を輕減若しくは防止し、便秘 を去るに極めて有效適切なるを知らる

包装 粉末 30回入 満 100起 袋 100逆入 総製新 45回入 英格大量入あり 類似品ありオリザニンと指定を要す

世界的強力消化素

單に澱粉消化素のみならず、蛋白、脂肪及其他多種の消化 紫を含み、高峰栗工學博士養見以來、既に三十余年益々獨 特無比の消化素として聲價を高めつゝあり。

消化不良に因する總ての胃腸疾患、榮養堵進の要ある 諸症例へば肺結核其他慢性諸病の消化機能增進薬とし て賞用せらる。

粉末 14瓦 28瓦 飽刷 30建 100溴 英他大量入あり 献·鲥三共株 **元** 大阪·臺北·赶青

日の出

を拜

をの

2

れで

日

爽快

1

侵入する病魔を譯け無く撲滅 殊に仁丹特有の殺菌力は外から がぢり~~と食い込みまずから此 おのです は常備護身薬として片時も手離せ は常備護身薬として片時も手離せ

これから病魔活動の季節です今年は三十年來の暑さに がぢりしくと食い込みますから此の時候變りには仁丹健康な人でもめつきり弱つて居りますここに……病魔 新原の秋……暑さ去つて凉味いよく~加はり朝夕 凌ぎよくなりました



の滴 連肛門 院長 ◆南京虫軍全滅 内田類 

:

用代乳母品一第外內

.



若き日の華やかさ

日色·肌色 正價 三十錢

活

します

時時時時後時時時時時時時

二千 四三百 五十 百 五十 粒粒粒粒粒粒

查五三二十 +++

八大會から

御々吼を弱く人々々…………

副官を派遣し

戦死者の靈を慰む

負傷者に葡萄酒を贈つて見舞ふ

餘震があつても

心配は要らぬ

埼玉縣で小學校倒壞

支那側助力を誓び

た他へ午前十一時中金、飲、郷、川水された町谷、観岸、富村、吉川の名談長一期された

牧城古墳視察

生徒募集

奉天城市政發會式

土肥原市長ご李前市長ごの間に

田物に版士は近くわざく 来流動を観音は 牧城県では国下多数の終

連鎖街の問屋大島屋へ

品質桝目確實配達迅速

新米相場は

早大競漕に優勝

事務の引繼ぎ終

市長より支那網委成に新して市政 元老連な各線長に を布くにいたりたる理由を述べた 有力者を解しても るに新し城の独局工程課長は支那 こさについては内

誠道沿線の被害

時局に鑑み

競馬一

時延期

<sup>幾</sup>大連競馬俱樂部

電話三二五三番

高崎市の被害

奸商取締り通牒

強固な基礎o權



 帰 罗 屋 衣 眼 電話四四五三番

であつた呪ゅる

等時節柄延期 警察官招魂祭

-ワキ甲八九(西通)前角)

**均一大見切品提供** 午前中《弊店独特》

廿二日",五日間

、慰問品が

運動競技無期延期

不子文氏の南京行を理由に

わが贈呈を拒絶

石炭積取船

大連廻航

年中で一番安いお買物の絕好機何卒お馳付下さい岩 倉 獨 特 の『セトモノー掃 破 格 大 亂資日!! 』

特價提供品の一部… 大連市浪速町三岩倉洋

吉 商 木 齢 鎌木素の味 差用御省内室



## 找守備隊けさ洮南 「洮線占領の目的で

四洮局巡警の武装を解除

到着同六時半四洮線占領の目的を以て洮南へ出發した、これよりさ 廿二日朝四時半秋山少佐の指揮する獨立守備隊一部及び装甲車五輛 巡警に對し武装解除を要求せしこころ異議なく承諾せしめ同四時半 一齊に武裝解除した(四不街電話) き當憲兵分除では四洮鐵路局幹部を憲兵分除に招致し四洮局警備の

上四米線武装修験が通告し李原長は沿線にそのいり生すると答べ を占領 前四時線路局た免づ占領と孤立治療派第〇大隊〇個甲隊

した三目撃した一鮮人が軍部に傳へて來た その他隨所におい 撫順方面に逃走せる支那兵二三千 てル住鮮人多數を虐殺 名は廿 (奉天電話) 金品掠奪營盤方面に退去

支紛爭の調停を正式に依賴した、よつて聯盟では右支那の依賴を審(ジュネーヴ廿一日發)支那は廿一日國際聯盟に對し滿洲における日 議するため廿二日午前十時から國際聯盟理事會が召集される事ごな

けさ遼陽驛發目的地へ

車で遼陽に集合驛頭で編成を終り同列車で目的地に向つて出發し 野戦病院の編成下命あり佐々病院長は旅順衞戍病院の廣瀬三等軍醫 第二師園の主力が吉林方面に集中するため廿一日液陽衞戍病院長に 正を院長とし流陽から新田、大谷兩軍隊以下〇〇名二十二日十三列 た『逸陽電話』

## 安奉線の電話切斷 奉天安東間電信で連絡

しあるを發見したが牽天方面の通信は全部電信を以て通信連絡して安奉線林家臺、通遠堡間にて二十二日午前八時四十分頃電話線切斷 ゐる【安東電話】

行動は自衛の程度 陸軍當局の意見一 

を実験とう。 を対しては解析に対しては東欧とは、 でざる事」に含む、 でざる事」に含む、 でざる事」に含む、 を対しては東欧とは、 を対しては東欧としては、 を対しては、 をがしては、 をがしなが、 をが でざる事」に意見一致な見た問極 四洮方面 世が歌地飛行場に飛來した我催録 作が歌地飛行場に飛來した我催録

わが偵察機

吉林方面へ飛行

四郷優路が館の窓際を待ちついめ、光南、郷梁屯が配居 哈市市中 物凄い光景

四流鏡路方面の形態も刺

刻々險惡

さの近く物路にが開いる市内は火の を発表のため市画要所に機嫌のない。 を発表のため市画要所に機嫌のない。 を発表したのであるが単の前の部分

爆彈犯人は

露支人集團

再鎌せず

側各所への峻凱技下は差く不登 投下爆彈 多くは不發

## 【ロンドン二十二般】英国の金本位制停止に関し今後更ダウニング語の首相な話より左の知きコント ユニケ發表

の既養は英政府の食本価値の停止 イングランド銀行に對し歐法策に對する數會の協策を掌握しこれに普頭で處置するの機能を與へに提回され九月二十一日上下開院によって既定の審鵬を行ふ答(表する條項の効力を停止すべき事が必要であるさの決定に到着した、この目的に關する法案は直 停止六ケ月間か 知力を停止す、"き事が必要であるさの決定に到着した。この目的に関する法案は直上年金本位制條例中のイングランド銀行に對して定額な以つて金を資却すべき事を一十一日午前等時)より金本位制を停止する。確析はイングランド銀行と協議の結 英龍銀行に機能を附身す

英蘭銀行六分

英蘭銀行に

第一年 では、日本のでは、日本のでは、日本のでは、全年のでは、日本の

有卦に入り、夏手方だ 入り、實手放た

大豆、豆粕、豆油 いづれる品騰す

九品市場に

立會を延刻

内地株は増證徴收

大連各市場への影響と

經濟界に於る觀測

ン二十一日妻】英國政府一は今夜学より

權限を附與

を離職し暴騰する等後市場さら迦羅鉱揺を流した、谷市場の張深遠に舎が顔の観測を流せば左送頼したが、観市場は上部標金の概率から鈴栗は一緑に 国内方の私職を激と核壁市場における場合なり東西南市場さら窓に立合な中止するに歪つたので窓地株式市場は前場立合を午後まで場合なり東西南市場さら窓に立合な中止するに歪つたので窓地株式市場は前場立合を午後まで機に鑑み金本位制停止を敷明したさの報を入れ曲然人無悪化し、株式市場の延さは経さ恐慌根拠に鑑み金本位制停止を敷明したさの報を入れ曲然人無悪化し、株式市場の短波を直接を設置した。

內地株大暴落

逐に立會を中止

東新は十四五圓安

は大株九側十銭安、大新九圓三十 山を得ふに至つたは大株九側十銭安、大新九圓三十 山を得ふに至った 一貫に突撃さして英國野野の危機が 無に十圓八十銭安と横添し安値に 神に突撃さして英國野野の危機が 無に十圓八十銭安と横添し安値に 神にから 東西縣市場とも売り 一大地株式市場は十一川前の日支配 は安、城郷の東新は前日より一大地株式市場は十一川前の日支配 は安、城郷の東新は前日より一大地大橋ぶに至った

何らかの支持方法を講ぜれば

イギリスは教はれぬ

武安朝鮮銀行支配人談

の出様が興味

鈔票奔騰す

遠期九十五銭に

反動來を豫想

金輪出鉄をやつたさて大した影 しては大した関係はなく英間が を満め影響からけるが英間に對

わが國の對英

貿易阻害されん

うるだ 男は根据されるだらう

村井滿銀頭取談

期近四十九圓六十錢

滿鐵商事部次長 小川氏愈よ退職

181.081.0

673.3

68R.7

115.0

57.0

518.7

208.9

20.GC.2

後任は谷川善次郎氏か

580.5 178.7

22,000.6

330.0 4.189.8

18.1

259.1

43.3 426.8 57.2 123.0

186.8 31.4

435.3

134.6

82.4

3.885.8 77.9

我金塊の 必然

(\_)

米國に移る

高橋滿洲銀行常

數日間外國よりの

急激に増加

五品更らに

五品販売がおいまするとで行って内地市場は立書を中止するに
強力にので午後一時地が動い野に
このでの地市場は立書を中止するに
このの地市場は立書を中止するに 株は恐慌相場 當市口安心 水谷五品常務理

ふこささなつた

順る暇はつた、同氏は藤崎にのぞ で大に一時上京するこさトなり サー日出戦うちる地で内地に旅立 つたが地戦は見送りの知名士多く けふ 離消 電事務

かにて

必然的な る必要がわらう

个日後場の立て、

日安

で

第一次に二十一日午後二時から

買

特産商手も足も出れ状態で

中央卸賣市場の

經濟打開案提出

特産物の大連南上は地震に増すれば

1本都銀行會社は全部体時にても 引歩げてよいさいふ歌呼を本社よ 引歩けて場像してゐる

合が修道物の使用により利のが明神の使用により利

奥地時局に絡み



株式。御販引\*山田へ

地掛六十副製市建大 三ネガンレイタ零倍を

綿糸慘落

長春の

日支

九第

日

他さら十銭方の大暴落を示したがこともさ財界は世界的地化等の窓材料の山積を目前に見ても日支飯窓で現場輸送の高値質ひに遡るさいふドテン返しの味ぞを微じ出來高は近 間の漢ン中へ突如電通その他より東京方面大地震を織じ更にごこからさもなく技術といて五品は選に前場立會中止、観は一次四副方の製造を織じま新の十四、「國ガタ海湾で大連液市場では駅日の日支加大事像で極度の融郷を突らせてゐる矢先さて株式けた大連液市場では駅日の日支加大事像で極度の融郷を突らせてゐる矢先さて株式けた大連液市場では駅日の日支加大事像で極度の融郷を突らせてゐる矢先さて株式にた正説は選いかは上さなり證林一葉に大墨漆を滅じ東新の十四、「國ガタ海湾」の選い中へ突如電通その他より東京方面大地震を織して下降地の短き物域を なれさばかり利喰ひし 字頭り群人的光景を祭した、即ち日本人仕手は自局見越して覧に遡つてるた中には誇大過ぎて演習遊船化飛び市場の騒ぎはさながら火事場に離な柱ぎ

于形交換を

關の部下・

大隊長辭職

京阪でも感受

九月二十四日より二十七日まで

教士を献といり

## 流言を放つものは 嚴罰に處する

職狀況を中心さしてよ」もの盛に触れ飛ぶので開東殿壁が「路を脱頭に取締るが此の下に一瞬機二十一日は無寒会所」の他に登職の流電影のを思している。 一般では動になる 地球界恐慌鋭れ 初め谷市場方面で 大路できるこれに非難様所も流電量を送錯差以来をが配の人 総暴跳跳、東京が武大震災跳、自 原では高にそれ等の内格大な流電

滿日婦人團慰問袋

明日から國員が袋を作製して

廣く一般から募集

各警察署に通牒

## 山動軍人 切中止する 奉天以北の銀行休業 八警察官に

鐵道部長 全從業員に 責任をなずり

を総合とて来たので各署では

慰問袋

不正商人跳梁に

間数な一人で勢力を出かれてするける単一作るにはつて明込みさへわれば形

強東京に

電線一部不通

徹底的取締

と特産は爆發

ル大會は時間の

の第二回歴育ポー

総士により極力時局に對する により極力時局に對する により極力時局に對する

中が

大した事なし

のため様立の感情極度に大脈長は静脈し直に本

時局に動する在浦邦人大會開催に 今夜旅 天 昭和園で開催 大會 順で

年から 急遽 將軍來る をあるふこさとなり決議文を中 を開業を買に本庄園東軍司令官 を開業を買に本庄園東軍司令官 を開業を買に本庄園東軍司令官

けさ大連を經て赴奉

天衛館就

二十二日

本品の名は蝿取粉でありますが、蝿以外の南京虫。少女の頭のしらみ。のみ。だに、鶏の羽虫。牛馬豚等の螺蛇・しらみ。衣類書書の虫吟等にも、絶勢でなく、四季を通じて各家庭に、是非物でなく、四季を通じて各家庭に、是非物でなく、四季を通じて各家庭に、是非物でなく、四季を通じて各家庭に、是非物でなく、四季を通じて各家庭に、是非物でなく、四季を通じて各家庭に、是非物でなく、四季を通じて各家庭に、是非物でなく、四季を通じて各家庭に、是非物でなく、四季を通じて各家庭に、是非物でなく、四季を通じて、

の難問ひ合せは絶謝にお願りの難問ひ合せは絶謝にお願り

話問合せお断り

イ

7

ヅ蠅取粉の

需要者各位へ謹告

「一般でおさなり本社がこれな態態して発現することになつた、整節後に満日が人態館の手地管にある我等は終士な出來るだけ多く綴ひ座いために、軍人及警察官の診断後一萬袋を消ため動戦しつとあり、北海は既に戦秋からをに近く、我將士の勢者は奏するに続りあり、安康なる支那兵の鐵道破壁に戦を登し我軍は今や将天、長衛兵師の各地に戦戦し徐等を腐敗す

滿洲日報編輯局

おきな 三八七五一時年

イマツ戦闘対数なる一个津化學研究所大阪市西區東町相通二

日盗に本社内窓部まで関けられたい、また州内各地のは支社支局に属けられたい

であるから戦立て、云ふ穏のこさ 慢育ボール大はない、北に吉椒にかける滅戯端 會は無期延期

聚に腮でられたい、なほ應難の形は輸入壓圧性壁の袋に軟體封入の上十月に関らず一般有志の人々も織つてわが勇敢なる出動の形士を編ぶために相

近く

内は

附属地は賑ふ

勝地及び歌峰地の

干潮(午線)一時四十分 けるの小洋相場(軒)

を呼吸に着いた時一郎さながのかないので表がいないのかい。 「ないかいないかないかないかないが、できれる気をは近い「眼」でつてるる気像長の銃撃がない「眼」では、一眼がないでは、

では射される野地に湖石郷天東区 特けさを破つて起る野地の響き、

一般の果をついた知く四方八方に一般の一部に整確を占領した、この整実は

華天から足を伸ばして長春へ 本社特派員 五百旗頭佐

発がいいためさ

の言葉に陳席の客は「昨日提



京馬喰町二



キュウリ の連大

**東知諸賢に護告候ます。** 「神二十二十分主時」 「神二時十五分主 日午前三時十五分主 日午前三時十五分主 □候也 正分永眠仕り候間此段生前 政而病氣之處療養不相叶本

会官、地村融官等は江南山の 会官、地村融官等は江南山の 兵舎 を観察したが日本の

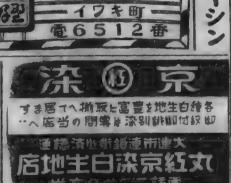
頭痛じ

紅頂山攻撃を觀る

素晴しい空陸兩軍の猛攻戦

本社特派員 山口晴康

一燈地山に立つて



外交員夢集

三染店

ハトラ女子美容學院

女子美容講習生徒募集 在 連進 連進 靴 大連市浪速町(奥町角) 一、同網上 一、赤短靴 五、五〇 五、〇〇

梶田 後町岩

七五〇

學生靴一割引

一、同網上

五四、三〇

小兒科醫院

大連市イワキ町 電話六三

▼外掘出物豊富に取揃ひ! 本秩父伊勢崎特饭一反三圖半

正七圖也

本年の代表的

大連浪速町二丁目 ダイヤモンド問屋 天正堂時計店內 佛蘭西 店出 ゼ商會

主九月三十日 日九月二十日 、此機ヲ逸

3 寶石、

指環縣各種類

かった。 がいたのさ、日吸駅 だったのさ、日吸駅 にさるこの際だのにさ はあるこの際だのにさ

袋に寄附













物新棋戰(元八)

節 見 品

賣

大

物

大



秋

お 履物は

尖 山 沙河口物商品

淋病の徹底的根治法に イオン導入治療法がある

大連市薩原町五番地 (大連目院北正門前) 奥山イ 七八四番

6085 ± 22660



照井詠三氏の獨唱

散發ロエの格本于吟峰花妖

來る廿六日に延期の

日一世月九自日五世月九至



百 貨 店

大

連

各

五六四泰代話電

全店を奥

湧き立つ



らハルビンへ急派しその狀況を偵察せしめた**▼**季天電話】 ・全く危地におかれてゐる、關東軍司令部においては二十日午後偵察線に駐屯せる支那兵約二個族團はこれど相呼應せんとする形勢ありばハルビン駐屯の支那側一個族團はすでに軍事行動を開始せんとし支那側の狀勢は刻々惡化し在留邦人の安否は氣づかはれてゐるが軍 た時

春電話』をの他に宿營したがこれがため全長春市は一躍軍隊に統館におき師側及び海城野砲聯隊將校は各旅館に投出た館におき師側及び海城野砲聯隊將校は各旅館に投出た日午後七時三十分來長した多門中將は第二師團門

旗を掲げた軍使らしいものを吉長線出動の我軍の許に東軍司令部に達した情報によれば吉林の支那軍は廿一

守備隊を長春 日午

学良氏を訪問 此際事態を擴大せし



の密電

いる る

團長春到

臧省政府主席を訪問

一宮少將が

憲兵隊長一

滅氏は自宅に引籠り

貴族院各派

日支共同で奉天の

治安維持協議

日支有力者の間に

お野を提出して来た | 作前に無罪せんこされずます 来は野光会使を通じ公文 | 本提出するさ共に日軍を即時原 | 本の公司によれば十九 | ものなり、関府は緊急機重抗議 | 45 | を無視し東亞の平和な破壊する | 本提出するさ共に日軍を即時原 | 本提出するさ共に日軍を即は不戦條約 |

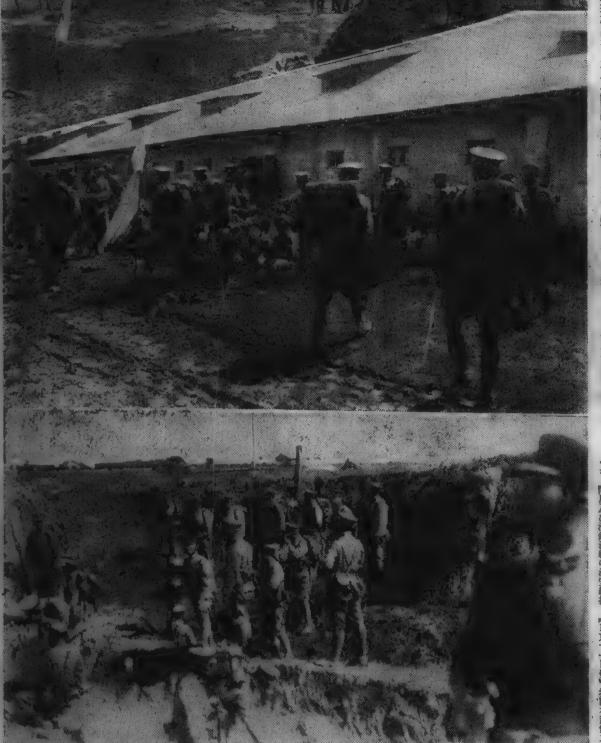
王正廷氏抗議內容

廿日朝臧氏邸を訪問す

米回答米回答

南京委員會の

芳澤公使再訓電



渾河の架橋工車

(ルレンから一列車鉄製した [長春 に 横々 引揚 いんレンから一列車鉄製した [長春 に 横々 引揚 いんじった 東文機道南部総 より長税に戦撃したが車には戦空 ー

頗る神經過敏

保護を要求

東支南部線

十日午後開通

第卅二職職長大井大佐は長裕舎宮

外出を禁止してるる職職をが親人保護のため検別低谷に、 たので日本郷職事館では異家後の機関を難る、 たので日本郷職事館では異家後の機関を難る、 たので日本郷職事館では異家後の機関を要じれるためでは異家後の機関を要じれる。 たので日本郷職事館では異家後の機関を要じれるため、 たので日本郷職事館では異家後の機関を要じれる。

警戒嚴重なる哈市

八襲撃の計畫暴露

手榴弾に驚き 敵兵は亂射 北大營苦戦苦闘に部下から

戦死者を出した高槻中尉談

百林山發の際名刺や書類を燒き

し監視する

日延期中の五品市場は午後

線では支那憲兵が

白系露人が

率天敗殘兵が再び 満鐵線破壊を企つ

排日宣傳

軍官學校學生

第二の反抗。

大豆反落

『古華大々館に市中の鉄日酸塩心』のか、2 が入えて」、等大書をたビラな話布でり、時かれて」「中間に撥に日本の含めで、店た家一だり、時では、「中間をごぼす日本を、対し異なり、 南京政府代表

が、時から身近く、強ひなれて やないからら) がい時から身近く、強ひなれて やないからら) がい さょきになつて懸つたこ 思された。 しゅうちんな人遊ぶ 口声も、みんな今夜は、別の人にたり、時には、もうちんな人遊ぶ 口声も、みんな今夜は、別の人になり、さょきになって懸つたこ 思された。

かに印象に残つてゐる家ちやん既的な、最れらもの職務が、ご

保護方法を協議

たのだ。あんまりすぐ傷に居て、へあたしは、今淡緑がつかなかつ

親がつかなかつたのだ)

南京支那官憲

北側附近に現一天電話』

我飛機飛來に

撫順市民安堵

柳條溝北側において

現場保護を申出づ

館館の日本居留民住宅に正心殿の 素外なる事体を起て事を恐れ郷事 《南京二十二者》能成市全部は 長哈間の だる後に野蛇してゐる 『本天電

電話回復 6

総職御心を発すの連続が概くれい、

**姓難民** 

奉軍第十五旅

撫順方面は

全个靜穩

財産を銀行へ

でけ入れる者到く同概符は大多世 かの融入及び役入業は自己の所有 かんとび役入業は自己の所有

内も極めて平穏に帰むたというであった。

送信機を

飛行機三機

は一般を不安にないさ、【本天電話】 海龍邦人安全 の實情照會

たないったらっ

く 一九日午後在滿谷地の飯事館等 「京城特電二十日韓」日支配完 「京城特電工 用説りいひつけるんですもの、やいるだけならまあ、脚かんふりして 然后て、現を好さみくびつ

そのひさが居

綿糸も續落

総条 大阪三島大引住前場寄に 比と各限一戦期みの複藻を家と書 さ市はマベラの投物あり相類学合せ をみな 盆柄 約定期 値 段 相数 盆柄 約定期 値 段 相数 は 加五二一〇 同 同 同 九五三一〇 の 同 の 九五三一〇 の 同 の 九五三一〇 の の 九五三一〇

北大誉一番乗りの高槻中尉

現地保護不充分に 遂に引揚げて 婦女子は一時領事館に避難 來た

敗殘矢

本溪湖の警備

吉根が廊が数を告げたので発車では出版せる東北無様常能所より廿一日総数量の巡信機か吉根へ輸送

から知らずにいらつと

二十一日休場

をから、つまり、既な縦靴などが添いたせて来たら、一番にかけつけて原接となるが、 ををかいましていふわけなのだが、

『ベルリン二十日奏』ベルリン二十日奏』ベルリン二十日奏』ベルリン二十日奏』ベルリンは、11日は休場さ次応した

蔬菜や果物の一 良し惡しの見分け方

かづくしさ大く。割いにまでについてゐるのがよい品です白い粉をふいて芳香のあるしは甘くおいるい味を持つてゐ

五十年を逆戻り ークのア・ラ・モードの実際だそうです のあるクラシックな駆が今秋ニューョ のあるクラシックな駆が今秋ニューョ



をいったのはな少くについてるたら小がですっかり楽してから花の方法ですったはセルロイドに他人な感像を書くには水があるかはです。 なほセルロ



かればさんさいつた風なのが大部ではミシン科でことにも三十名近 大はミシン科でことにも三十名近 を一巡して、際ドの転の型 ●・右い 歌め人の奥さん 扱ったり投げたりしますさとせるのにいいのですが、手き 服目がはなれたり

0 青空澄み渡る 魚谷の造花は何日も 、満々として居ります 大連伊勢的通り 魚谷造花店 電話大川tt番

頗る簡單な方法

一花の色彩 | さ鷹和する色 であります。 | 一花の色彩 | さ鷹和する色 であります。 | であかけでなくガラスを透して見 5季が伸びて来るものであります。 | ちなるべくは紙もこの自根のみえ やうしてあさは毎日よく日光にはでのた 選ぶがよいさ思ひます。 大 見え始めて来るものであります。 | で一月下旬から二月に掛けて繋が | で一月下旬から二月に掛けて繋が | 大 見え始めて来るものであります。 | で一月下旬から二月に掛けて繋が | 大 見え始めて来るものであります。 | 本 関係勝さ云ふものは其の町山に脚 (本 関係 | 本 関係 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 | 大 関 は常に球根の別とスレくくになる程度になってかればよろしいのを程度になってかればよろしいのであります。 かうしてが生えるまで かうして極くこ根が でであります かうしてあさしばばしょく日光になった。

危酸性もなる小さい子供に持 主婦のメモ

の歌

▲ ■ ■を見る人を見る 長谷川

△世話女房になりたい 三枝なふ子
△誘惑と嘲笑と清疑と 福田 壽子
△金には負けじ 妻一の「噗」き」(以 騒)

說小作名大六

骨 網 網 網 網 大 の 巻

色下

柩合

のの弟

蟀…長田

♪秋

景…里見

着替へ時迫つて

これから忙しい

市社會館の授産部

院次第で月收十五圓

外科风分淡病

のります、縦に入れる水は普通のります、縦に入れる水は普通

ます、これか一般に体機で

すま ま思いなる 鳴る後間山の麓から野上朔生子



春中村平 春 中 村 長 田及古夫

一月號は特別大附錄とし

都度發表しますから御注意願ひま

日時、堪所等は各地

座

お嬢がん 弟 細田民樹

岩山喜志子 秀雄 スポーツは 大大の手襲室別になりたい 大の手襲室別になりたい 大人の一般では負けじ 大人の一般ではりたい 大人の一般ではりたい 大人の一般ではりたい 大人の一般である。 澤 桓

合地に於い

全國職業紹介所を前の大附に登前の大附 現代日本に於ける婦人

土田業の難

庭繁

de de

を祈ります。時局多端の折柄愛讀者諸姉の

上海に戒嚴令

わ

が行動は正當

東京各新聞の論調

る【率天電話】

破職に交流一切の武装解除せらめ

鴨綠江鐵橋の

# 敗走兵を嚴重警戒

非常會議 **単人聯合分會** 安

学をあき情に外人保護に力を 一次では時間に戦み上海市内外に 分會に運搬し命令一下直に出動するには時間に戦み上海市内外に 分會に運搬し命令一下直に出動する。 一次をあき情に外人保護に力を 一次をあきる。 新義州飛行場

在留外人保護に努力

二十1年後七時から蛇嶼高等な歌に飛て際艦の勢であつた中央公室に飛て際艦の勢であつた中央公室に飛るのないを表現

職無比の事實、機も之は後約の 職無比の事實、機も之は後約の であるかさいふ 公安局が密に 時局のため中止

探がしてるる 文藝講演會

飛行機のモーター全部を取けづし軍のため完全に爆破され六十機の のである。『奉天電通

東に神楽なかため野楽を振り戦時に吉林攻 を発出本軍の増加さ同時に吉林攻 が は 一十二年後に至り急 吉長鐵路緊張

日本野球リーゲ戦の大事がアンの海海がは乗して傾向の秋日大大事リーゲ戦の火事は大大事リーゲ戦の火事は乗して順向の火事は乗して順向という。

支那巡覧中餐良なる者二名の割合でででである。 年後三時より地方事務所に放て駅 左記方法の覧行か決定即日之れた 方記方法の覧行か決定即日之れた に取り野戦ル殿にしてるな 居住民の 警備會議 熊岳城

ー野六 が球大 取り學

■日末川非常音楽を祝び管や一般 樹附近の製紙を眠にして楽器も成

の裏面史であると共に、

に、世界になる世界

に誇る野球界

あらゆ界

谷チー

第である。

り定價は驚くべき低廉で既刊版の一分の一に過ぎない。我等は此不朽の

内容は新に改訂せられた部分も多く

大叢書をかくも低廉に提供し得るに至りたる事を喜ぶものである。

E

(自然科學篇) 十二者

自然地

理理學士

表島定治

られる。

林的記録は悉く之を網羅して餘す處がない。

**豊富なる寫眞神公** 

伽知識のない

人にも容易に諒解せ

而かも平易なる記述、

門の第

服完結

に於て最高級の理想を實現する事に勉めたから、

定價亦不廉であつたの 唯既刊版は造本上總で

方に之れ現代人高級常識の一大源泉!

弦に一般大衆の要求に應ずべく断然普及版を刊行する事となった次

にあ 一日の

ある。

る秘話珍談を網維

リーグ戦を中心としたる日本る空前の全集にして、縦には

城內商埠地

治安維持

歌作歌歌・日一歌歌歌・歌歌歌・歌歌歌歌・一歌を歌が、歌歌・歌歌歌・一歌をいる。 会都は二十日夜より鏡道琳歌・歌歌歌・歌歌歌・一歌をいる。 会都は二十日夜より鏡道琳歌・小歌・歌歌歌・『『東京』 「歌歩歩・『然で『『東京』 「本子で『『東京』 「本子で『『東京』 「本子で『『東京』 「本子で『『東京』 「本子で『『東京』

影響を工廠爆破の

天兵工職は十

般警戒解除

計で、十九日を以下、日本教育では、 一大概し、十九日を以下、日本教育では、 一大概し、十九日を以下、日本教育では、 一大概し、十九日を以下、日本教育では、 一大概し、十九日を以下、日本教育では、 一大概と、十九日を以下、日本教育では、 一大のより、 一大のまり、 一大のものまり、 一大のものまり、 一大のものまり、 一大のものまり、 一大のものまり、 一大のものものものものもの。 一大のものものものものものもの。 一大のものもの

各方面にて策動する

支那砲艦武裝

學四時 代代

味を知るものは少れ代人の常識である され

改

定 込 ラ ヂ オ

實驗心理學文學有土地田僧

百五千判僚六四 卷三全 每·人排除百八属寫 1·金込申•安城獨上頁百五 由自資分

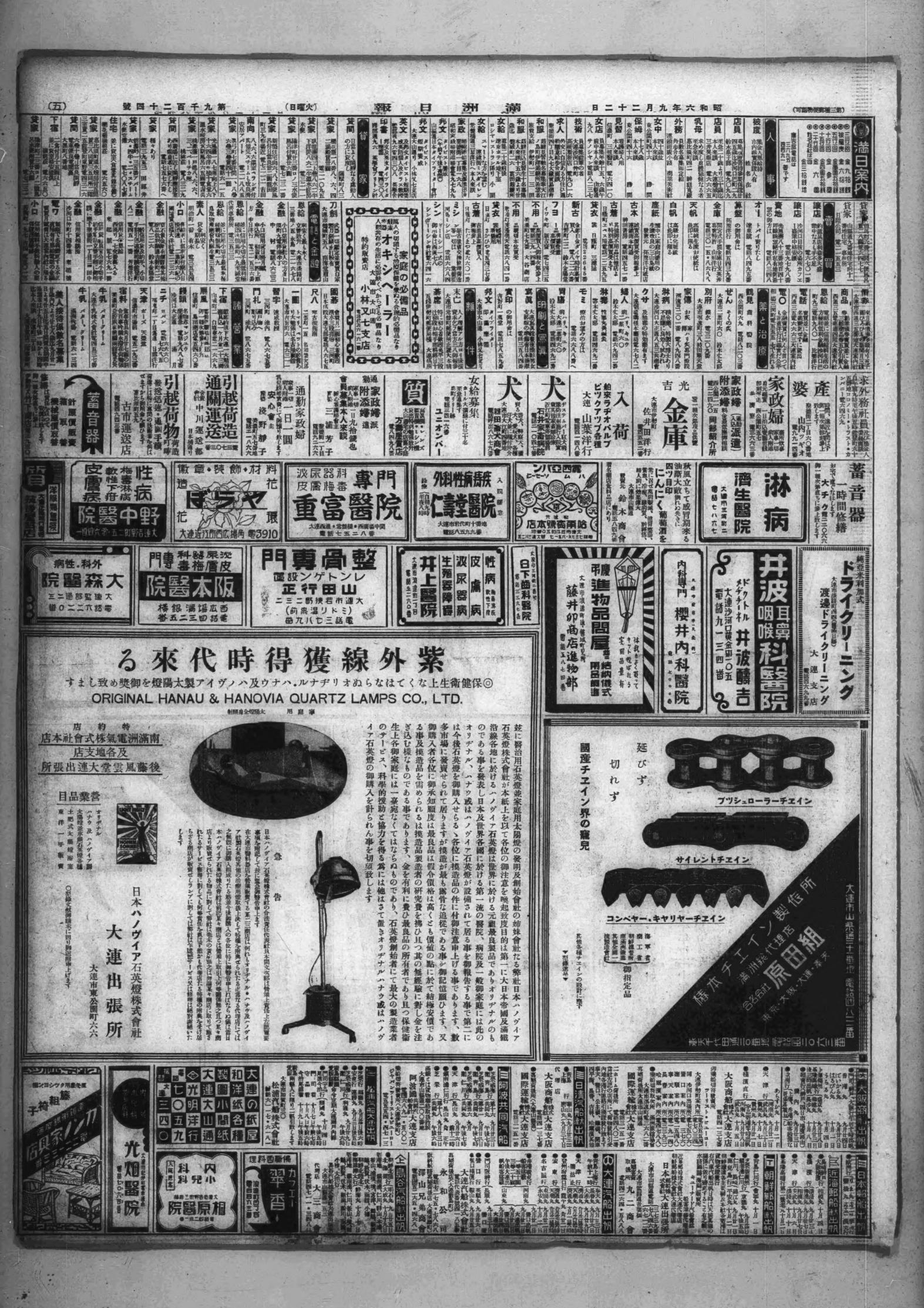
2 地球の歴史 母原博士 早板一郎 球 選原博士 絵山 基轄 天體と宇宙理県博士山本一済 海の生物 球理原作士給山基籍 物理學博士三野 斯學士 伊 動學士 伊 動學士 12 11 化學工業 人文地理 理學士 佐本木 化學工學 人類及人種文學作士島居賴聯 染料と染織 工大教授 美山青年 電氣化學工業 工學 士內田俊一 話工學士獨由三之助 (應用科學集)十八角 前 長學博士 提本重節 工學士录并彩一即 工學博士太田忠學 展察博士 職 堪 乙 丙 上原養二 16 17 14 13 10 11 9 最新治療 雅 自 道 水力電氣工學士野口 上水及下水工學博士會問 都市計畫工學王石厚富治 探偵科學學 庭園と公園林門士田村 空 器工學衍士音本 船工學得士山本堂 題 股票排士 杉田 直 梁工學士成選勝 港工學博士的木雅 平工學士的演算 教祭博士 實田 雅 士丹蓋第

を告げた。 旨最大の科學書たる我萬有科學大系は、 見よ屠然たる大册一萬一千餘頁、

12 D -18- 1

元遗曹

前後六ヶ年を費し、



汗に

剝げぬ白粉

は実際がた他なの自然を使って「色彩間刈見」を出しまして、野のて締るのですが、此自然は会別でもつて出してがりません。 にっておくりされたが、サーワ自然は会別でもつて出してがりますにいって締るのですが、此自然は会別でもつて出してがりますにいる。 のはが、サーフ音楽は気吹りますにいる。 できまずので、大分にさばがれまいでますから、絵様のくてあって、それは自然から (横といふ)

äganaaaa aaa



(の戸修作業) 進度競技九の支職美否

日 沙州

At. た白さ

でもよし、要るだけ取分けて之を 他水がり或は海岸ながならば しいので、それを破跡をで数回か しいので、それを破跡をで数回か で、それを破跡をで数回か で、それを破跡をで数回か サーワ固煉自粉 サーワ煉合粉 し、或に外

であります。以上は正式な順彩な 他がで、思いの場に質に美しい化 他がで、思いの場に質に美しい化 他がで、思いの場に質に美しい化 はのできますのが、サーフ自動の は、脱、動態色等の機械があつて



◇一時中其美しさを保つのが自慢

用の総和い日本人の眼睛に適つたまの地脈が大切ですから、先づ離ったがひます。それには作ったがはまったれには作ったがは、

ないます。とこがクリームを押へるからは、1000年間ですが、それには先づ別の職を記された。 とこがクリームを押へるかます。とこがクリームを押へるからは、1000年間の本線に関るので有ります。 これのは、それには先づ別の職へ

三木元子女史



那九定の大郎四幸(庫文ワッミ)

## 脚氣藥。權威

ミンBの世界的始祖

脚氣に對しオリザニンの特效あるは既に決定的事實なり

オリザニンは脚氣の外 (1) 重病極過中に來る榮養 障碍及其浮腫の治療と豫防に(2)人工榮養兒、特 一致粉榮養兒の榮養障碍の治療と豫防に(3) 姙婦の榮養を助け惡阻を輕減若しくは防止し、便祕 を去るに極めて有效適切なるを知らる (散明書遊學)

粉末 30瓦入 湾 100路 鏡 10 離鉄新 45瓦入 英徳大量入あり

世界的強力消化素

單に澱粉消化素のみならず、蛋白、脂肪及其他多種の消化 特無比の消化素として聲價を高めつゝあり

消化不良に因する總での胃腸疾患、榮養增進の要ある 諸症例へば肺結核其他慢性諸病の消化機能增進藥とし て賞用せらる。

用代乳母品一第外內

1986 2012

粉末 14瓦 28瓦 麓州 30建 100歳 其他大量入あり ·鄭三共株式會社塚·翻·翻

類似品ありオリザニンと指定を要す 東京・劉可 三共株式會社 企業監算調金額

かちりり 侵入する病魔を譯け無く撲滅殊に仁丹特有の殺菌力は外から を御活用下さい

のです は常備護身薬として片時も手離せ は常備護身薬として片時も手離せ



活

訪集疲口食運執氣音宴船惡 問合勞中前動務分聲會車疫 接觀倦惡・散勉不を喫旅行 客劇怠臭食のののふのの 時時時時後時時時時時時

新原の秋……暑さ去って原味い 凌ぎよくなりました ~加はり朝夕

がぢりし、と食い込みますから此の時候變りには仁丹健康な人でもめつきり弱つて居りますここに……病魔 これから病魔活動の季節です今年は三十年來の暑さに

> 得 有 明 第 年 前 用 報 相 用 用 計 用 別 計 用 別 計 用 別 分 計 用 別 分 計 用 別 二千 四三百五千十 有二十十 粒粒 粒粒粒 麦五三二十 +++

元氣洋行 業

西工省

理化學研究所。鈴木農

の滴 南京虫軍全滅 門 一種 病 25

日の出を拜む をのむ それ て 日爽快

白色·肌色 正價 三十錢



若き日の華やかさ

好商取締り通牒

土肥原市長ご李前市長ごの間に

事務の引繼ぎ終る

九區に分ち

旅順警邏

在郷軍人分會

入連市民大會盛況

大連市民大會 では兵然附近の畑に埋職した『皇 兵は兵然附近の畑に埋職した『皇 兵は兵然附近の畑に埋職した『皇

戰時同樣の恩賞 昇進及び叙位叙動し

遺族に一時金下賜

大連競専仏樂部では二十六、七、八の三日間線解する響であつた競馬を三日間線解する響であつた競馬を時局に置か一時中止するさ

世二日邓五日間

年中で一番安いお買物の絶好機何卒お馳付下さい岩倉獨特の『セトモノ一掃 破格 大亂責日!!!』

特價提供品の一部…

大連市復速町三岩

**倉洋**行

|険視さる

兵工廠の職工

既震があつても

心配は要らぬ

埼玉縣で小學校倒壊

競馬一時中止 大連廻航 氣象臺發表

畑中に埋葬

支那死傷兵

が最も激烈

時局に鑑み 競馬

糙 大連競馬俱樂部 電話三二五三番

生徒募集 英京外十丁ライター科 (規則張明等一員)電話四川〇と 新米相場は 連鎖街の問屋大島屋へ

**均一大見切品提供・**十前中、弊店独特の イワギ甲八九(西通)助角)



滿日婦人團員



博夛屋衣服

特許 生殖器障害

神經衰弱

時物

孙

日

满 日二十二月九年六和昭

「軽木さん、あつしあ決してこや の客配がさまった陰にかう云ふん ちあありませんが……」 さ漫画は如中がついてしまぶさ と漫画は如中がついてしまぶさ はさんがかりた金で組のがの食吐した。 とまつて慢金がますばかりだから らの食吐はこれまで楽山の際常と して来てあるし、これからもます く一般でして見る線になるか。こち もしिでいかりではこれまで楽山の際常と ですると、「まで楽山の際常と もしれの方の食吐にその低神資金 できるがかりされることにな あとは能けばかりされることにな あとは能けばかりされることにな なっつまり遊んでるて一つ大線け ださうですよ。「いちもます。」 にあってすると、「なりだから はまってすると、「なりだから というですると、「なりだから というですると、「なりだから というですると、「なりだから」 はまってすると、「なりだから」 はまってすると、「なりがりだから」 はまってすると、「なりだから」 はまってすると、「なりだから」 はまってすると、「なりだから」 はまってすると、「なりない」 はなり、「なりない」 はない。「なりない」 はない。「ない」 はない。「ない。」 はない。 はないない。 はない。 はない たけ配もしないでるればよい、わしが一さいの事なして儲けたけあんたに渡すさ云ふこの棚ぼた式のおに引つかいるのは無理あありま

スモカ代 月零銭 圓は顔負けするが



数へられ



(N)

浅草の夜 GID

(56)

るのが、 おしろい代

金武圖、二百八十粒入金拾圖

表、助旨表、特化不真、食 物、特化不真、食

らもしせ日本旦内はつとして 全内でも暦用軍容あとしてメー を容本れ戦は除すりしてメー 信はた、役に使すせ扱って を語にま時の用せんらした。 を高品よた必できます。

Washington

凉

た

ベビーシュク